



□には漢字を、〔 〕には漢字と送りがなも書きましょう。

(1) □<sup>きし</sup>  
まで  
〔 およぐ 〕  
。

(2) 人を  
〔 たすける 〕  
。

(3) 電話で  
□<sup>もう</sup>  
しこむ。

(4) 体の  
□<sup>し</sup>  
□<sup>くみ</sup>  
を学ぶ。

(5) □<sup>しん</sup>  
□<sup>ちよう</sup>  
がのびる。

(6) 見事な  
□<sup>さく</sup>  
□<sup>ひん</sup>  
。

(7) お  
□<sup>きやく</sup>  
様<sup>さ</sup>が来る。

(8) 夏休みが  
〔 おわる 〕  
。

(9) 漢字の  
□<sup>れん</sup>  
□<sup>しゆう</sup>  
をする。

(10) □<sup>すい</sup>  
□<sup>えい</sup>  
大会に出る。

(11) 世界の  
□<sup>どう</sup>  
□<sup>わ</sup>  
を読む。

(12) □<sup>ぎん</sup>  
□<sup>きよ</sup>  
色の道具を使う。

(13) □<sup>きよ</sup>  
□<sup>ねん</sup>  
の出来事。

(14) 自分の  
□<sup>み</sup>  
□<sup>まも</sup>  
を守る。

(15) お礼の  
□<sup>しな</sup>  
がとどく。

(16) この場を立ち  
□<sup>さ</sup>  
る。